

17.高知女子大学看護学会

高知女子大学看護学会は、看護学の進歩発展と、地域の看護職者の研鑽および看護の質向上に貢献することを目的として、看護学会の開催、公開講座の開催、高知女子大学看護学会誌の発行、奨学金の貸与などの活動を行っている。本学会の運営委員の約半数は、本学部の教員が引き受けており、学外の様々な現場で活躍している運営委員とともに活動に取り組んでいる。また、運営委員以外の学部の教員からも多くの協力を得て、これらの諸活動をスムーズに展開することができている。

1) 第48回高知女子大学看護学会の開催

令和4年7月16日に『看護におけるイノベーションの創出』をテーマに、第48回高知女子大学看護学会を開催した。開催方法は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止と参加者の安全と健康を第一に考え、全てオンラインの開催であったが、当日は卒業生・修了生をはじめ県内外の看護職者145名の参加があった。

午前中は、東京情報大学の松下博宜先生を講師に「看護におけるイノベーションの創出 ～遊び、まじめ、アイデアの異界越境から～」をテーマにご講演いただいた。講演後のアンケートでは、「イノベーションは日常のあそび、関係、他分野との相互作用から生まれることについて理解することができた。」「自分の携わっている仕事もイノベーションのひとつであることを認識した。」「看護の可能性の広がりを感じる講義だった。」などの意見が寄せられた。

午後からは5つのワークショップを開催し、計109名の参加があった。ワークショップでは、修了生や卒業生、教員の話題提供者から、実践の体験をもとに各テーマに関する報告や発表がなされ、参加者との活発な意見交換が行われた。

□ワークショップ1

看護におけるイノベーション —AI を活用した看護記録—

話題提供者：藤野 智子(聖マリアンナ医科大学病院 急性・重症患者看護専門看護師)

コーディネーター：原田 千枝(高知大学医学部附属病院 副看護部長)

木下 真里(高知県立大学看護学部 教授)

□ワークショップ2

関係性が脆弱な家族への関わりを通して考えるケアのイノベーション

話題提供者：松下 由香(高知医療センター 家族支援専門看護師)

田淵 良枝(高知医療センター 不妊症看護認定看護師)

コーディネーター：池添 志乃(高知県立大学看護学部 教授)

□ワークショップ3

本人・家族・支援者が共に作り出すイノベーション—本人の思いを尊重した『その人らしさ』—

話題提供者：島田 いづみ(帝京大学医学部附属病院 がん看護専門看護師)

弘末 美佐(高知大学医学部附属病院 がん看護専門看護師)

コーディネーター：吉田 亜紀子(高知学園短期大学看護学科 准教授)

有田 直子(高知県立大学看護学部 講師)

□ワークショップ4

医療ニーズの高い療養児・者の在宅療養支援におけるイノベーション

話題提供者：二宮 園美(神戸訪問看護ステーション 在宅看護専門看護師)

安岡 しずか(高知中央訪問看護ステーション 在宅看護専門看護師)

コーディネーター：大黒 美渚(高知市健康福祉部地域共生社会推進課)

森下 幸子(高知県立大学看護学部 准教授)

□ワークショップ 5

将来を見据えた卒業生のキャリアデザイン ―自分イノベーション―

話題提供者：町田 友里(看護師：高知県立大学看護学研究科博士前期課程)

高橋 咲季(保健師：高知県健康政策部健康対策課)

下村 幸(助産師：JICA 海外協力隊)

栗栖 やすか(養護教諭：松江市立皆美が丘女子高等学校)

コーディネーター：田之頭 恵里(高知県立大学看護学部 助教)

中井 美喜子(高知県立大学看護学部 助教)

2) 高知女子大学看護学会誌の発行について

学会誌を2巻発行した。詳細は以下の通りである。

- ・高知女子大学看護学会誌 第47巻2号：令和4年6月発行

原著論文4編、総説2編、研究報告3編

令和3年度高知女子大学看護学会公開講座報告

- ・高知女子大学看護学会誌 第48巻1号：令和4年12月発行

原著論文5編、総説1編、研究報告5編

第48回高知女子大学看護学会報告、令和4年度高知女子大学看護学会総会報告

3) 令和4年度 高知女子大学看護学会「公開講座」について

令和4年度の公開講座は、令和4年9月24日(土)に第1回と第2回「やってみてわかる！看護の質的研究」を、10月1日(土)に第3回と第4回「やってみてわかる！看護の量的研究」を、全てオンラインにて開催した。県内外から看護師や保健師、助産師、看護教員、大学院学生らの参加があり、各回21～28名、合計104名の参加であった。実施後のアンケート評価では各回93～100%の方が、満足～とても満足と回答していた。また、「自分の研究に生かすことができると思う。」「生データからのコード化など具体的な分析 Process が体験的に学ぶことができ良かった。」「分かりやすい解説が多く、日ごろ抱いていた量的研究に対する苦手意識が軽減された。」などの意見が寄せられた。

	タイトル	講師	日程
第1回	やってみてわかる！看護の質的研究	高谷 恭子先生	9月24日(土)
	①インタビューガイドの作成とインタビューの実際		10:00-12:30
第2回	やってみてわかる！看護の質的研究 ②インタビューデータの分析	池添 志乃先生	13:30-16:30
第3回	やってみてわかる！看護の量的研究	内川 洋子先生	10月1日(土)
	①質問紙の作成		9:30～12:30
第4回	やってみてわかる！ 看護の量的研究 ②研究デザインからデータ分析・結果の記述・考察の視点まで	岩崎 順子先生	13:30～16:30

4) 奨学金の貸与

令和4年度は奨学金への応募者は1名であった。今後も広く学会員に奨学金について周知をはかることに努めていく。